

大正紡績

JCで特設ブース

環境配慮の「日本の匠」一堂に

大正紡績は、5月9日(11日)に東京ビッグサイトで開かれる「ジャパン・クリエーション2008春夏」(JC)の特設ブースで、環境配慮の各種紡績糸とこれら原糸を用いた「日本の匠」による商品づくりを垂直的に紹介する。イベントスペース横10段四方のフロアには有機栽培の動・植物繊維原料から織り編み・アパレルに及んで30社の製品が勢揃いする。

クラボウ・グループの

大正紡績は、90年代半ばからオーガニック・コットンをはじめ、グローバルに5大陸の上質繊維花を選んで紡績糸製造に始まるテキスタイル・アパレル・製造チェーンのプロデューサーを任じてきた。

今回協賛の30社は、それぞれに「OGラファイ」「オーリンダ」「アルテイメイトピマ」、また「マシュマロ」といった「大正紡績用語」で呼ばれる紡績糸の特徴を生かした商

品づくりに取り組んでいく。うち、最初の糸は有機栽培のバージン・コットンとこの原料の紡績工程で派生する落ち綿を50%ずつ混用したもの。最後はウランバートル近隣で産出される黒・赤・白カシミヤと中国産シルク、インド・スピンゴールド綿花を有機的にブレンドし、四季を通じ展開可能な用途に向けられて

いる。JCでの特設ブースは①5大陸の特選コットン②オーガニック③獣毛混④合織活用⑤日本の匠⑥と5つのコーナーに区分し、それぞれ壁面の繊維原料からテーブルには織り編み、そしてトルソにアパレル商品を着せかけ商品づくりを流れて見せる。

具体的には、オーガニック・コーナーでは有機栽培のコットン、ウール、リネンから染色技法で彩土(はに)染め、弁柄染め、草木染など。獣毛混(実演)、辰巳織布、福田

アンゴラ、ヤク、キャメルとコットンのミックス製品。日本の匠コーナーでは手機(てばた)、筒編み機による実演や出雲織、芭蕉布など伝統製品などを紹介する。出展企業30社は次の通り。

△アパレル▽地球の糸、ジョイントスペース、西川リビング、新藤、プリードドッグ、45rpm studio、ジム△ニット▽志茂合織メリヤス、馬淵繊維、森下メリヤス工場、ヤマヤ(筒編み実演)、小林メリヤス、近藤ニット△テキスタイル▽ジョーワ、高澤織物(手機の実演)、辰巳織布、福田

織物、山崎、吉河織物、樽井繊維、丸音織物、鈴木織商 △タオル▽上脇、渡邊パイル織物、ハートウェル、近藤繊維工業、藤高柄染め) △手芸▽横田 △レース▽北山基 △染色▽ナカシマ(弁柄染め) 大正紡績は、オリジナル素材のベルギー・オーガニック・リネン糸とオーガニック・ウール糸を用いたペズリー柄生地をオパール加工で透かしたサンプルなども出展する。